



「なたねの雫」で「食べるラー油」を

つくります！



町では、年々増加している耕作放棄地対策として平成29年度から「かがみいし油田計画」を推進し、鏡石町産のなたねを100%使用した食用油「なたねの雫」の製造・販売を行っています。

今回、その「なたねの雫」を使用した「食べるラー油」の製作を、東日本薬草合同会社、町地域おこし協力隊小柳夫婦の協力のもと行っています。

「なたねの雫」の特徴

「なたねの雫」は、町内で生産された「キザキノナタネ」を100%使用し、搾油も化学薬品を一切使わず、過度に加熱もしない圧搾製法により一雫ずつ丁寧に搾り、風味豊かに仕上がっています。

さらに、血液中の悪玉コレステロールを下げるオレイン酸、体内で一部がDHAやEPAに変わり、健康機能を維持するリノレン酸などが含まれています。

「食べるラー油」商品名を募集します

この「なたねの雫」を使用した「食べるラー油」の商品名を募集いたします。ネーミングを行ってみたいという方は、はがきに必要事項を記入し、ご応募ください。

●応募方法

はがきの裏面に「住所」「氏名」「電話番号」「商品名」をご記入の上、

〒969-0492 鏡石町不時沼 345 鏡石町役場産業課までご応募ください。

●締め切り 12月16日(金) ※当日消印有効

※採用された方には、完成品及び町特産品をプレゼントします。

●問い合わせ先 産業課 ☎62-2118



上位入賞へ思い一つに

第34回ふくしま駅伝 11月20日

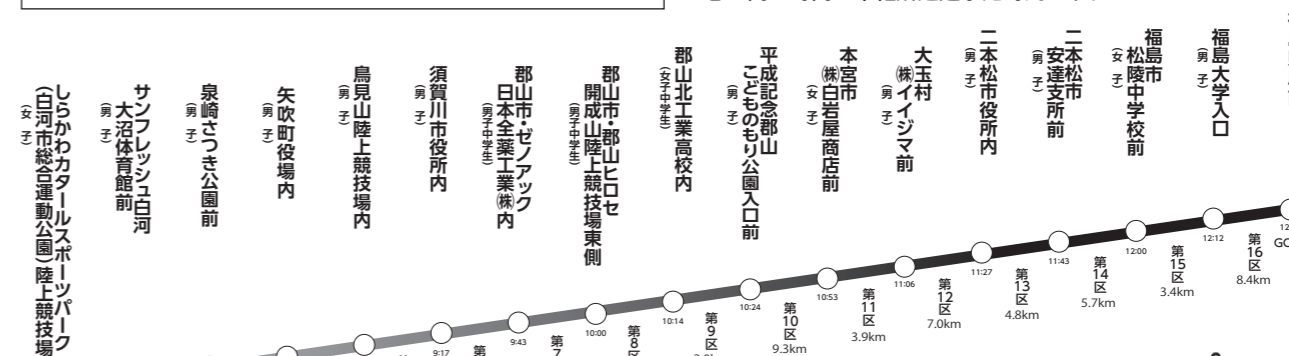
第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は、11月20日(日)に白河市から福島県庁までをつなぐ16区間(95.0km)で競われます。今大会には、合同チームを含めた53チーム(県内59市町村)が参加を予定しています。

鏡石町チームは、石井智大さん(かがみいしスポーツクラブ)、増子陽太さん(鏡石中学校3年)、佐藤征昭さん(鏡石町役場)、山本竜也さん(小森コーポレーション)ら実績十分な選手が序盤から中盤を固め、塚原健司さん(鏡石町役場)、佐原尚樹さん(自衛隊郡山)、井上寿弥さん(自衛隊市ヶ谷)ら安定感のあるベテラン選手、若さと勢いのある中高生とバランスの取れたチーム編成になりました。

今年も町民の皆様の熱い応援をよろしくお願ひいたします。

福島県縦断コース図(95.0km)・選手紹介

※当日の体調などにより、出場選手が変更となる場合があります。 ※各区間の時間は中継所通過予定時刻です。



今回のふくしま駅伝では、声を出さない条件付きで沿道での応援が可能となりました！

区間	選手名	所属等	区間	選手名	所属等
第1区	真船 琴美	鏡石中学校2年	第9区	柳沼 夏帆	鏡石中学校2年
第2区	石井 智大	かがみいしスポーツクラブ	第10区	佐原 尚樹	自衛隊郡山
第3区	増子 陽太	鏡石中学校3年	第11区	角田美智子	カワチ薬品
第4区	佐藤 征昭	鏡石町役場	第12区	大波 淳宏	南材木町小教
第5区	塚原 健司	鏡石町役場	第13区	圓谷 伸稀	学法石川高校1年
第6区	山本 竜也	小森コーポレーション	第14区	圓谷純一郎	日本大学東北高校2年
第7区	石井 凌和	鏡石中学校3年	第15区	会田 美桜	鏡石中学校2年
第8区	村上 正義	鏡石中学校3年	第16区	井上 寿弥	自衛隊市ヶ谷

牧場のあーさー♪ “まちの文化財探訪記” と行く

鏡石町内には、先人たちの残した貴重な文化財が数多くあり、次の世代に伝えるため、保護・保存には町民の皆さんの協力が必要です。

『温故知新』新しきまちづくりの糧となることを願い、町の文化財を紹介していきます。さあ、皆さんも牧場のあーさー♪と一緒に文化財を訪ねましょう。

【第11回】緑泥片岩板碑

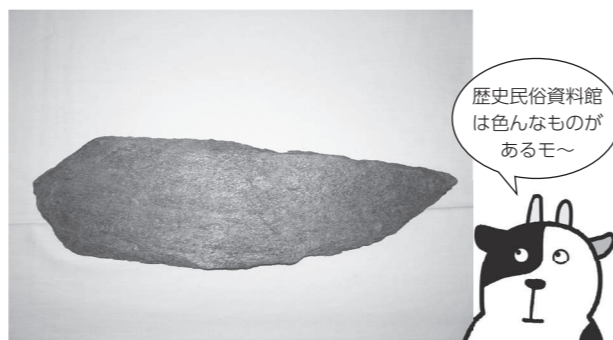
(所在地：成田 343 番地 鏡石町歴史民俗資料館内)

この板碑は、鏡石町北部地区にある江泉館跡(鏡石町深内町・標高275.9mの独立丘陵に築城された中世の館跡)より発掘されました。

緑泥片岩板碑は、四十余基発掘された中の一つで、深さ約20cmの地中より出土し、高さ46.3cm、幅(下部)16.3cm、厚さ1.9cm、重さ2.43kgという形状です。

この板碑は、関東秩父地方特産の緑泥片岩と呼ばれる岩で作成されており、本県では数少ない存在として注目されています。

この板碑が江泉館在住の武士と坂東との交流と、江泉館を支城とした二階堂氏の動向を考察するための貴重なものとなっています。



歴史民俗資料館は色んなものがあるモ～



牧場のあーさー♪ の「ここがPoint♪」

●緑泥片岩の独特な色合い…、カラーでお届けできないのが残念だモ～

●問い合わせ先 町公民館 ☎62-2031